議会質問 第4回定例会・代表質疑

（平成28年12月12日）

◆震災の風化について

質問： 仙台市中心部に整備予定のメモリアル施設について、計画は上がっているが、少し遅いのではないか、伺う。

答弁： 被災された方々をはじめ市民の皆様の想いや、本市の地理・歴史などをふまえ、幅広い分野の専門家の方々から意見を伺いながら、様々な観点から、その持つべき機能や展示内容などについて、更に深く検討を重ねてまいりたい。

◆「いじめ防止基本方針」と「いじめ防止マニュアル」の見直しについて

質問： 福島からの原発避難の児童・生徒や被災した子どもへの認識、配慮、対応などを盛り込むべき。

答弁： 国の動向を見据えながら、原発避難の児童生徒への配慮等を含め、必要な見直しを図ってまいりたい。

◆復興公営住宅の一般募集の開始について

質問： これまで 14 回に及ぶ入居調整を行ってきたが、それでもなお、茂庭第二のみ 29 戸が空きである。住まいにお困りで市営住宅を希望している市民が多くおられる実情から一般募集に切り替えるべき。

答弁： 一般の市営住宅募集への移行につきまして、検討を本格化させてまいりたい。

◆開業から1年を迎えた地下鉄東西線について

質問： 八木山動物公園駅の駐輪場の利用状況は、年間を通して２割にも満たない。今後も利用者が増えないと考える。別の用途の活用に見直してはいかがか。また、駅の屋上の「てっぺんひろば」は展望を生かす工夫としてお茶が飲めるカフェの設置はいかがか。

答弁： 駐輪場の利用促進に向けた取組みを進め、利用状況を注視した上で、暫定的な活用策について検討してまいりたい。ご提案の内容のてっぺんひろばの利活用について検討してまいりたい。

◆平成30年度完成予定の西多賀市民センター及び児童館改築工事について

質問： 我が会派では、洋式トイレの整備、備品として和室いすの必要性を訴えてきた。整備の概要を伺う。また、既存の市民センターにおいても整備すべき。

答弁： 改築後 22 か所となるトイレのうち、洋式については 20 か所を整備。和室いすにつきましても配備の検討を行う。既存の他の市民センターにつきましても、今後、利用者の皆様の声を伺いながら、可能な対応を検討してまいりたい。

SPコードは視覚障害者の方のための「文章読み上げ装置」用のコードです。
装置は、仙台市内各区役所に設置してあります。

◆本庁舎の建て替えについて

質問： 本庁舎の建て替えについての市長のご判断が早ければ、議会棟のバリアフリー化が早くなる。早期の判断を求める。

答弁： 本庁舎は建築後、既に 51 年が経過。耐用年数にも限りがあるほか、議会棟のバリアフリー化対策にも関わりますことから、新年度からの取り組みが急務であり、最終的な方針決定に向けて、整備手法の比較検討などの取りまとめを急ぎ進めてまいりたい。

分譲マンションの複合化の豊島区新庁舎を視察　（11月１日）

◆その他の主な質問項目

- ●8,000 ベクレル以下の放射能汚染廃棄物の試験焼却について
- ●東部復興道路整備事業について
- ●地下鉄東西線の高齢者利用促進とバス路線再編の検証
- ●旭ヶ丘市民センター及び（仮称）青葉障害者福祉センターの早期整備
- ●小中学校の体育館の洋式トイレ等整備
- ●生活困窮者（こんきゅうしゃ）自立支援事業の周知と関係機関との連携
- ●病児・病後児保育事業の拡充とさらなる周知
- ●介護予防・日常生活支援総合事業・介護の担い手の確保

◇◇ 皆さまの声をカタチにしました！（実績抜粋）◇◇

実現

■八木山動物公園の環境整備を推進

実現

手すりの増設・木製の枕木を使用した園路の段差解消・電動アシスト付き車いすの貸出でバリアフリー化が進みました。お声を寄せていただいたご家族の皆様と喜びの来園となりました。

■特定不妊治療の指定医療機関の拡大

特定不妊治療とは、指定の医療機関において実施された体外受精と顕微授精の治療方法で、治療に要する費用の一部を助成しております。仙台市の助成制度が活用できる指定医療機関は5ヶ所ということで、患者にとっては、狭まれている状況であるため、昨年2月の議会で拡大の推進を訴えました。平成28年度は6ヶ所となりました。

SPコードは視覚障害者の方のための「文章読み上げ装置」用のコードです。
装置は、仙台市内各区役所に設置してあります。